

事故
事例

旋回ロックピン跳ね上がりによる人身事故

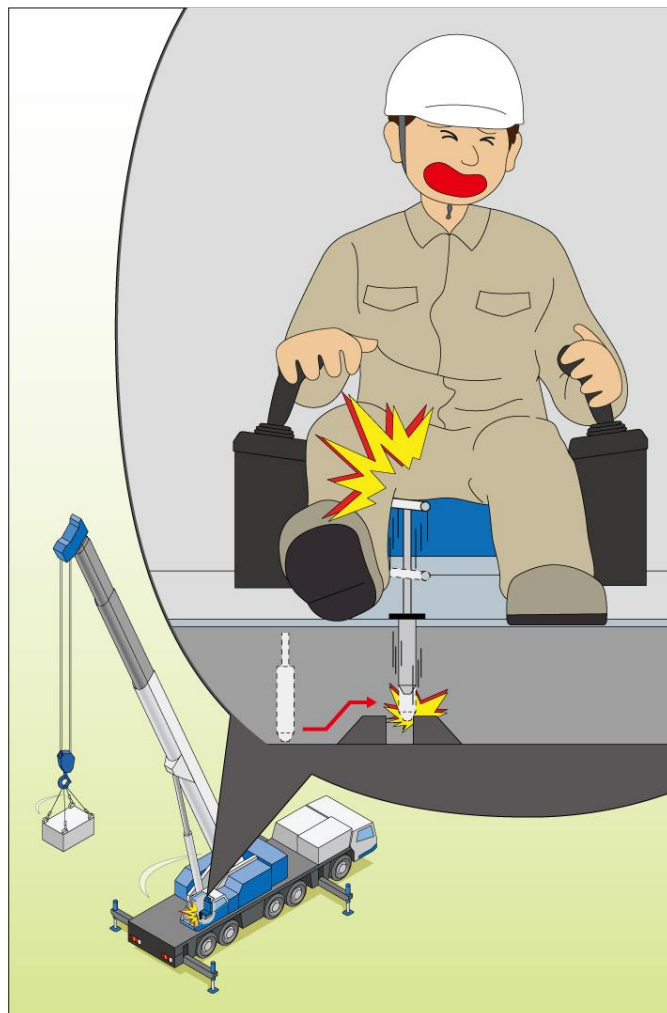
オールテレーンクレーン

事故発生状況

旋回操作中、旋回ロックピンと
ロックピン挿入サポートが干渉し、
ロックピンが跳ね上がった。
その際、ロックピンのハンドルが
運転者の足に当たり骨折した。

原因

旋回ロックピンを抜いた際に
固定が確実にできていなかったため、
ロックピンが下がり、
それに気付かず旋回操作を
してしまった。



対策

旋回ロックピンの解除は、ロックピンを最後まで引き上げ、ハンドルが
止まるまで回転させ、確実に固定位置に格納されていることを確認する。

⚠ 注意

旋回操作をしながらの旋回ロックピンの
抜き差しは、ケガや機械を損傷させる
おそれがあり大変危険です。

旋回ロックピンの解除

- ①最後まで引き抜く
- ②ハンドルが止まるまで
右に回転

